



いきいき茨城ゆめ国体2019

第74回国民体育大会

翔べ 羽ばたけ そして未来へ

第74回大会 TEAM FUKUOKA NEWS



福岡県選手団サポートニュース

R1. 10.8 Vol.15

バスケットボール競技 少年男子 **2連覇達成 通算12回目の優勝!**

日立市池の川さくらアリーナで行われた少年男子の決勝の対戦相手は宮城県。圧倒的な力で勝ち上がってきた両県はウォーミングアップからリラックスした表情。実力は伯仲しており、互角の勝負になるのではないかと予想された。序盤は、宮城県が優勢。次々にシュートを決め、試合を優位に進める。中盤、緊張が解れてきた福岡県が徐々に攻勢を強め、逆転に成功する。終盤、福岡県は更に優勢を強め勝負に出る。ハーパー・ローレンス Jr を中心にディフェンスからプレッシャーをかけ、88-60 で福岡県が見事優勝を果たした。



バスケットボール少年男子

すごいぞ! 陸上競技 **24年ぶり競技別天皇杯獲得!**

最終日も陸上競技の勢いは止まらなかった。少年男子B3000mに出場した荒巻朋熙選手(大牟田高等学校)が3位入賞。成年男子共通4x100mRでは7位入賞と最終日も得点を積み重ね、合計118点を獲得し、見事24年ぶりの競技別天皇杯の栄冠を手にした。福岡県はラグビーフットボール競技に続き2つの競技別天皇杯を獲得した。

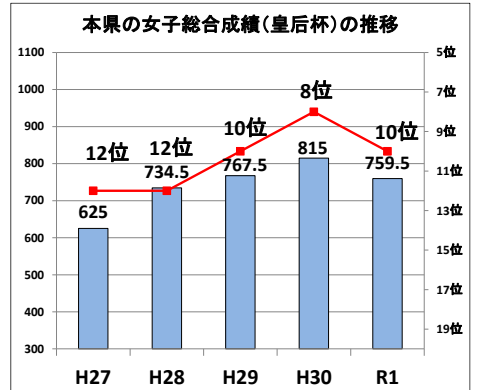
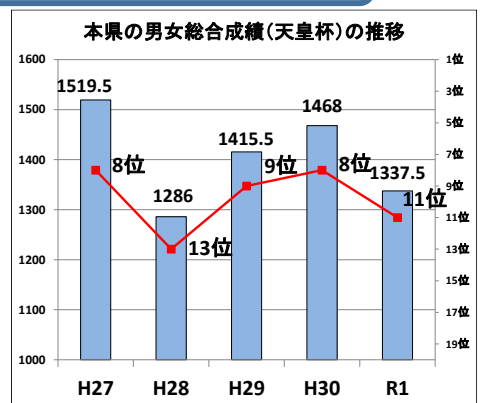


競技別天皇杯を獲得した陸上競技チーム

いきいき茨城ゆめ国体「閉幕」天皇杯11位! 皇后杯10位!

第74回国民体育大会「いきいき茨城ゆめ国体」は、最終順位を天皇杯11位、皇后杯を10位とし、チーム福岡として掲げた目標である、常時8位以内入賞には届かなかった。

福岡県の選手たちは、優勝を目指して持てる力を十分発揮し、11日間を戦い抜いた。佐賀県で行われた九州ブロック大会において、来年度本国体開催地である鹿児島県が躍進し、本県の「本国体代表権獲得数の低さ」が少なからず影響したと思われる。詳しい分析については、11月13日に開催される「国体解団式」で報告をさせていただくが、常時8位以内入賞を目指して、今大会までの取り組みを振り返り、成果と課題を明らかにするとともに、その内容を各競技団体に共有することで、来年の鹿児島へつなげていきたい。



第74回茨城国体順位(天皇杯)

順位	都道府県名	得点	昨年度順位
1位	茨城	2569	16位
2位	東京	2217	2位
3位	愛知	1789	6位
4位	埼玉	1735	4位
5位	神奈川	1643.5	7位
6位	大阪	1552	3位
7位	千葉	1470.5	5位
8位	京都	1410	15位
9位	北海道	1397.5	9位
10位	福岡	1391	1位
11位	福岡	1337.5	8位
12位	岡山	1267	11位

第74回茨城国体順位(皇后杯)

順位	都道府県名	得点	昨年度順位
1位	茨城	1331	14位
2位	東京	1286.5	2位
3位	愛知	1043.5	4位
4位	埼玉	997.5	5位
5位	大阪	926	3位
6位	京都	807.5	19位
7位	千葉	801.5	7位
8位	兵庫	787	9位
9位	神奈川	771	6位
10位	福岡	759.5	8位
11位	福岡	746.5	1位
12位	鹿児島	683.5	16位